

令和6年2月16日(金) 発行



# 高大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会  
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



2023.9.28-29  
高崎アリーナ



第93号 2024・2

## ご挨拶



父母の会会長  
神宮 美和子

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、御家族と共に健やかに新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より父母の会の活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度は二年に一度のスポーツ祭が高崎アリーナでおこなわれました。私達保護者も初めての観戦でした。クラスで揃えたユニフォームでの観戦はとても個性や華やかさがあり、一丸となって応援している姿は子どもたちの青春を感じました。

父母の会の行事としましては、学年学級懇談会やマナーアップ運動、私学振興全国大会、PTA指導者研究会等、たくさんの皆様にご協力いただきながら一年間の行事を無事終えようとしています。

家庭との両立を図りながら、役員の皆様教職員の皆様に助けられ、この大役を務めさせて頂くことが出来ました。あらためて心より感謝申し上げます。

また生徒の皆さんにとって、高校生活で得たことは人生の貴重な一部になります。自己管理や時間管理、他者との協力やコミュニケーションスキル、挑戦する勇氣など沢山のことを学びましたね。『やればできる』というポジティブな姿勢は、困難な状況に対しても前向きに取り組み力になります。これからその姿勢を持ち続けて自分の目標に向かって努力していただく。

結びに商大附高の益々の発展と会員の皆様にとって新しい年が笑顔溢れる素晴らしい一年であります。すよう心よりお祈り申し上げます。



## ご挨拶



校長  
安齊 義宏

新年のご挨拶を申し上げます。このころではありますが、ご承知の通り新年早々北陸能登半島地震という大変ショッキングな悲しい災害が発生いたしました。残念ながらも亡くなりなられました方々へ謹んで哀悼の意を表します。また、被災された多くの方々に対し心よりお見舞い申し上げます。

このような中ですが、本校生徒たちは新たな決意のもと新年を迎えていることと思います。今年の干支は「辰」です。辰は十二支の中で唯一空想上の生き物であります。なぜ使われたのかは諸説あり詳しくは分かりません。ただ、辰年は政治の大きな変化が起きることが多い年と言われています。古くは戊辰戦争、日露戦争、ロッキード事件やリクルート事件と言った

汚職事件も辰年に発覚しています。これらはネガティブな出来事です。が、それ以外の明るいことでは東京オリンピック開催、東海道新幹線、瀬戸大橋、東京スカイツリーの開業など国家プロジェクトの始まりが多いのも特徴です。活力旺盛となって大きく成長し、形が整いさらには出世や権力に大きくかわる年と言われていることももうなずけるところがあります。コロナ禍を抜けた今、社会経済はもろろん、それぞれ個人的にも成長する年となるよう願っています。

さて、4月からは在校生も学年が上がります。新たなステージとなります。卒業生は新しい環境の中の生活が始まります。年度の始まりに生徒諸君もワクワクした期待や楽しさを想像する反面、環境や人間関係が変化する不安や悩みを抱えている人もいるのではないかと思います。苦しい時や辛い時はぐっとこらえて乗り越えていくことも大切ですが、皆さんの周りにも家族や仲間、そして我々教師にも頼ってください。人に頼ることは決して恥ずかしいことではありません。自分の弱さをさらけ出し、力を借りることも必要なので



す。そして心や身体が安定している時はどうか困っている人に対し、励まし寄り添ってあげることも忘れないでください。社会や学校という集団の中でお互いを尊重しながら豊かな日常を送っていきましょう。

保護者の皆様、日頃より学校へのご協力ありがとうございます。生まれてから親や家族の手を借りなければ何もできなかった子供たちが高校生となりそして大人の仲間入りを果たそうとしています。これまでのご労苦に心より敬意を表します。

子どもたちの未来のために、令和6年度も宜しくお願い致します。

## 本部役員挨拶

### 「今年度をふり返って」

副会長・三学年委員長

堀口 泰

新年明けましておめでとございます。父母会会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年度をふり返ってみると、五月より、新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、いろいろな行事が本格的に始まりました。

父母の会開催の学年懇談会は、オンラインから講堂にて集合開催されました。私も久しぶりに保護者の皆様方の前での挨拶、とても緊張しました。また、マナーアップ運動でも、回数を重ねることにマスクを外した子供達も増え、いろいろな表情をうかがうことができました。

九月には、スポーツ祭開催も保護者の見学解禁となり、一生懸命に競技に取り組む子供達の姿はとも誇らしく思いました。

今回のコロナを乗り越えたこと

子供達には大きな成長へ繋がったことと思います。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

最後に、商大附属高校の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

副会長・二学年委員長

永田 衛

昨年五月八日から、以前の世界に戻りつつある日常の中で、生徒達は、学校で学業・部活と励んできました。今年度も父母の会は、総会、学年学級懇談会、広報誌、マナーアップ運動等、学校と協働して事業を無事開催しました。ご協力頂いた先生の方々、誠にありがとうございました。

さて、本校を旅立つ生徒達にちよつと一言。新しいコトに挑戦する時、偶に「プライド」が邪魔をします。過去の実績や栄光、つまらない過信、ある筈もない未来の栄冠を求めたコトで、今の状況を適正に把握することができず、間違いや、失敗をする。では、その様な状況に陥らない為には、どうすればいいのか？恥ずかしがらずに自ら進んで、「かっこ悪いコト」をしまししょう。そうすれば、

副会長・一学年委員長

庄司直樹

本年も宜しくお願い致します。

九月に開催されたスポーツ祭でのクラスユニホームを、ニコニコ顔で見せにきた子供達「何でこの番号だと思う？」「このマークは何の意味があると思う？」など、とても楽しみなのがよくわかり、終わってからも「もう少しだったのにな！」「ガンバッタのにな！」ほんとに楽しかった様子。おかげで、数日間は、会話だけで家の中がとても明るくなっているのを感じさせて頂きました。ありがとうございます。

開催にあたりまして、校長先生、教職員の方々、関係者の方々にご尽力頂きました事に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が、5類感染症に移行して、三年以上続いたコロナ禍の【中止、制限、不安、我慢】から少しずつ解放さ

れ、以前の生活が戻りはじめ、当たり前前の事と感じ、思って行動した事が、どんなに有り難い事だったのかを、改めて痛感させられた一年でした。

### 書記 山岸 千冬

新年明けましておめでとうござい  
います。今年度は高校最後の役員  
の年になりました。一つ一つの行  
事が終了するたびに、もう次はな  
いのか：ちゃんとやりきる事がで  
きたかな？と振り返る事が多かつ  
たです。また今年度のスポーツ祭  
では、父兄の観戦も出来た事によ  
り、子供達もより一層頑張りが、  
して楽しんでいたと思います。

今現在もコロナ禍での生活を忘  
れてはいけません、学校行事が  
開催でき参加する事で、父兄や先  
生方とのコミュニケーションが取  
れる事の大切さを改めて感じまし  
た。私個人としては、今年はず離  
れへの準備期間として過ごす決意  
をしていましたが、夜遅くまで勉  
強している姿を見ると決意とは裏  
腹に簡単なものではないと思いま  
した。残り少ない高校生活ですが  
一緒に頑張りたいと思います。

最後になりましたが、皆様のこ

多幸と商大附高の益々のご発展を  
心よりお祈り申し上げます。

### 書記 間正良 昭

明けましておめでとうございま  
す。会員皆様におかれましては健  
やかに新年をお迎えのこととお慶  
び申し上げます。

本年度は新型コロナウイルス感  
染症が5類に移行され、学校や地  
域でコロナ禍以前に開催されてい  
た多くの事業が再開されました。  
父母の会でも例年通りに開催し  
ていた、学年学級懇談会や年三回  
のマナーアップ運動、そしてスポー  
ツ祭の協力や後援会役員との合同  
研修会等も開催され、多くの事業  
を通して父母の会役員のみならず  
後援会役員の皆様との親睦も深め  
ることが出来ました。また群馬県  
私立小・中・高保護者会連合会主  
催の情報交換会や学校見学会では、  
他校の取り組みについての発表会  
や施設見学会もあり、有意義な時  
間を過ごすことが出来ました。

最後に会員の皆様のご健勝とご  
多幸を祈念申し上げますと共に商大  
附高の益々のご発展を心よりお祈  
り申し上げます。

### 会計 根岸 由美

明けましておめでとうございま  
す。皆様におかれましては穏やか  
に新年をお迎えのこととお慶び申  
し上げます。一年を振り返ってみ  
ますと、高校二年生という学年ま  
ん中の年になり、親子共々リラッ  
クスして過ごした一年ではなかつ  
たのかと思います。マナーアップ  
運動では、安全の確認をしながら  
も普段はなかなか出会う事のでき  
ない子供達の日常、登校する姿が  
心に残るものとなり嬉しく思えま

### 三年生保護者より

## 旅立つ我が子へのメッセージ

F312 森田 愛子

高校入学二ヶ月前に膝の靭帯の  
手術を行い入院リハビリ退院と高  
校生活への期待や緊張などする間  
もなく高校生活をスタートさせま  
した。親として膝の靭帯の術後の  
心配や高校生活で初めてとなる電  
車通学など、これでもかと山ほど  
の心配をしていたのを思い出しま  
す。高校三年間は怪我などなく学  
校生活を送れたことに一安心して

した。高崎アリーナでのスポーツ  
祭では各クラスでの応援、ユニフォー  
ム、ダンス、声援の中走るリレー、  
行事に向けて準備をし、そして楽  
しむ様子が見られました。

今年度、高校生活最後の年、初  
心に戻り何事にも丁寧に向き合っ  
て行くことを心がけていきたいで  
す。そして子供達が安心感を持っ  
て活動していける様見守っていき  
たいです。

皆様のご多幸、ご活躍を心より  
お祈り申し上げます。

います。

コロナ禍などによりマスク生活  
があたり前になっていて、マスク  
をはずさない生活が中心だった高  
校三年間。コロナ禍以前の高校生  
とは違う生活の中で同級生との関  
係や人間関係もいろいろな事があつ  
たのではないのかなと思います。  
四月から大学生活へまた新たな気  
持ちで高校三年間頑張った事を糧  
にして大学生活を楽しく将来に続  
く未来を目指して頑張ってください。



高校三年間先生方には大変お世話になりました。有難う御座いました。

F314 鈴木珠美

音楽センターの桜の下で娘の笑顔を写真に収めた日を昨日のことのように感じます。商大附高は私の母校でもあり、友だちや先生方の話を娘から聞く度に懐かしさを感じていました。中学の頃とは違い勉強する教科が増え、定期テストや授業の難しさと向き合い壁にぶつかる時期もありましたが、いつの間にか娘なりに勉強のコツをつかみ、身に付けられるようになっていました。そうした大変な面にぶつかりながらも休まず高校へ通えたのは先生はもちろんのこと、素敵な友だちの存在があったからだと思います。毎日のようにその日あったおもしろいエピソードを笑いながら話してくれました。良い友だちに出会い充実した高校生活を送れたことは親としてこんなに嬉しいことはありません。梨美。十八年間楽しくすごせたでしょうか。これからの人生まだまだ楽しく嬉しいことが待っています。お母さんはどんな時もずっとあなたの味方です。

F318 茂木國治

入学してからあつという間に時間が過ぎ、卒業を迎える時期となりました。思い起こせば、中学校時代から新型コロナウイルスの騒ぎで、我慢の時期を過ごしていたせいか、何か夢中になれる物が無いように感じていましたが、入学してから、部活に軽音部をやってみたいと言いついた時には、正直びっくりしました。小さい頃から楽器など、うまく使えず音楽には興味が無かった様に見えたからです。今では良い感じかなと思っていたら、今度の進路で音楽関係の勉強をして音楽の道を歩んで見たいという事を聞いて、この高校生活の中で将来に繋がる夢が出来たのは、大変嬉しく思っています。人生、これから先どうなるか解りません。今でなければ出来ない事が有ります。自分が一番苦手かなと思っている事が、案外うまく行く事も有ります。何事も臆する事なく、挑戦して下さい。

F310 原 明子

あなたのことを考える時、いつも小さかった頃の姿が最初に思い

浮かびます。

ママ、ママと抱きついてきてくれた可愛いあなたは、今では遅しく成長し、親を追っていたつづらな瞳は未来を見つめるようになりました。

四月から一人暮らしの大学生。今までのように学校生活の色々な話を食卓で聞けなくなるのはとても寂しいけれど、お土産話を群馬で楽しみに待っています。

これから人生が変わる出会いがきつとあります。その出会いに気がつかず迷うことがないよう感度良好でいて下さい。それは人であったり、勉強であったり、考え方であったり多様な形をしています。一步踏み出す事ができれば、あなたの人生を豊かに彩ることでしよう。

そして、大学でも空手を続けてくれて有り難う。日本武道館のコートに立つ姿を楽しみにしています。体に気を付けて頑張れ！卒業おめでとう。

F311 村上小百合

卒業おめでとうございます。大変な三年間お疲れさまでした。慣れない寮生活をしながら弱音

も吐かず、笑顔を絶やさず嬉しい事よりも苦労が多かった中で、目標に向かい努力していた事を知っています。最後まで諦めず全力で取り組んだ部活動。よく頑張りましたね。そんな貴女を誰よりも誇りに思います。

コロナで色々な事が制限される中入学し、それが無くなった今、充実した学校生活を送れる事を嬉しく思います。

大学への進学は、自分のやりたい事をしっかりと見極め夢を叶える第一歩です。その夢に向かい、これからも自分らしく輝き続けて下さい。応援しています。

最後に、これまで支えて下さった皆様に心より感謝申し上げます。

S312 佐藤有明子

思えば入学前の春休みに祖父が亡くなり、弟の中学進学も重なって、バタバタと高校入学準備をしたのを思い出します。高校三年間は貴方にとつてどのような日々だったでしょうか。いろいろな事があつたと思いますが、三年間通いもうすぐ卒業です。貴方の人生で一つの事を成し遂げようとしています。何気ない日々だったかもしれませ



んが高校卒業は大きな節目です。そしてこれから新しい生活が始まります。成人になり、親としては見守ることしかできませんが、自分のやりたい事をまた成し遂げてください。失敗して挫折したり理不尽な事もあるかもしれません。それでも自分の人生を豊かなものにするために努力し、生かされていることに感謝して自分のやるべき事を全うして下さい。

これからは貴方たちの時代です。親としてまだまだ、とは思いますが、時には貴方たちに頼ることもあるでしょう。そんな時、誇らしいと思える人になってほしいと願っています。亡くなった祖父や祖母、遠くの親戚たちもみんな貴方の幸せを願っています。

卒業おめでとう。

## 【進学 状況】

新年あけましておめでとうございます。父母の会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、2023年時点での入試結果ですが、国公立大学の総合型選抜および学校推薦型選抜での合格者は11名になりました。その内訳は信州大学1名・群馬県立女子大学2名・群馬県立県民健康科学大学3名・高崎経済大学2名・新潟県立大学1名・公立鳥取環境大学1名・山口東京理科大学1名となっています。コロナも収まり日常生活が戻ってきたことで、比較的遠方の学校への意識が戻ってきたように思います。また、昨年引き続き私立大学を公立大学化した学校の志願が多い傾向があります。

国公立大学の前期試験が数日後に迫ってきています。気を抜くことなく、かといって過度に緊張することをなく、いつも通りの自分の力を発揮してきてほしいと思います。また、私立大学についても例年通りの合格が出ています。これから入試という生徒もいると思います。こちらについても自分の力を

十二分に発揮できるように願っています。さらに、高崎商科大学および短期大学の系列校推薦入試も11月11日に行われ、大学26名・短大6名の合計32名が合格しました。また、指定校Ⅱ期でも2名の生徒が合格しており、ほぼ昨年度と同様の人数になっています。

## 学校(大学)選びのチェックポイント



### ① 専門性や知識を活用する力が身につくか？

- 将来役立つ力が身につく専門教育があるか？
- 教育内容がアップデートされているか？
- ICTを活用した授業の工夫があるか？
- 成長が目に見えて分かる仕組みがあるか？
- 学生の成長を後押しする指導が行われているか？
- 学習情報を指導に生かすシステムがあるか？
- 正課の授業以外に成長につながる活動があるか？

### ② 成長を社会に結びつけるキャリア形成支援を行っているか？

- 1年次からキャリア支援が受けられるか？
- どんな資格を取ることができるか？
- 就職サポート体制が手厚いか？

### ③ グローバルスキルが身につくか？

- 留学制度は充実しているか？
- オンラインを活用した交流があるか？
- コミュニケーション重視の英語教育が行われているか？

### ④ 入試の制度は把握しているか？

- 入試の制度は？(方法・受験会場など)

### ⑤ 費用の支援制度が充実しているか？

- 経済支援制度は充実しているか？(奨学金など)

全体的な状況として、来年度より新カリキュラムによる受験が始まるのが、現3年生の志望校においても影響があると考えられます。他校でも浪人を避ける意味でランクを下げて受験してくる生徒もおり、難関大学と中堅大学の併願を考える受験生が増えるのではないかと予想されます。

これから受験を控える1・2年生ですが、前述のとおり新カリキュラムによる入試が始まります。とくに共通テストについては新しく『情報』という教科が加わります。各大学で2025年度の入試科目がすでに発表されているところもあります。国立大学および理系の私立大学については情報の利用を公表しているところが多いようです。また、共通テストに関してはここ数年、知識の詰め込みだけでなく、答えに至るまでの過程を問う問題が数多く出題されています。共通テストに向けた学習の計画を早いうちから立てておくください。また、総合型選抜や学校推薦型選抜でも、以前のように面接だけで合否が決まる形から、基礎学力テストや口頭試問など学力を問う入試を行うようになってき

ています。日ごろの学校での学習の中から問われることが多いので、日々の授業を大切にしてください。

進学指導主事として、いろいろな学校の入試広報の方にかかわることが多いのですが、必ず言われるのが「本校に入学し、卒業するうえでどんな自分になっているかを想像して受験に臨んでほしい」ということです。とりあえずこの学校でいいやとかなんとなく受験してみた、という感覚で受けるとなかなか学校生活も長続きしないようです。なぜこの学校に行くのか？なぜそれを学びたいのか？自分自身で確認するとともに保護者の方にはぜひ確認をしていただきたいと思います。一番近い面接官は保護者の皆様です。ぜひ、お子様の進路達成に向けご協力をお願いします。

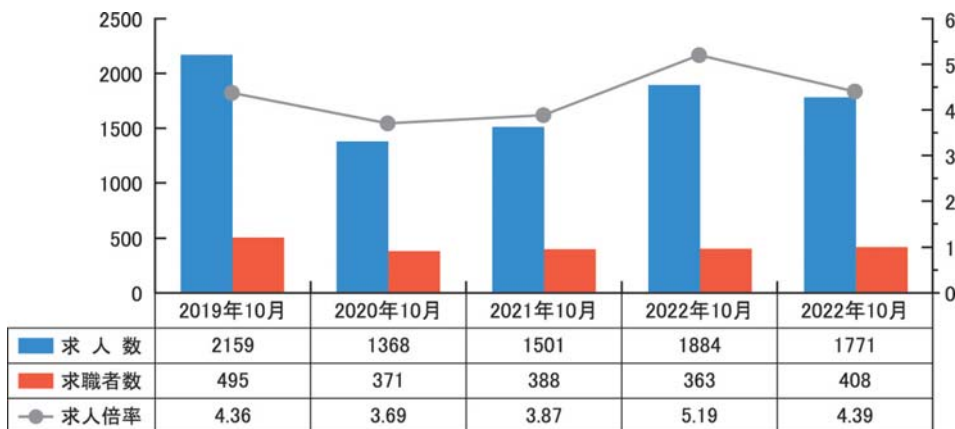
(進学指導主事・佐藤 正樹)

### 【就職状況】

昨年度と比較しても求職者数も高崎管内では増加(図1)しています。本校においても、今年度企

業の方に就職に関する様々なご協力をいただき、求人数も約1000件に及ぶ求人票を頂くこともできました。職種についても製造業・流通業・サービス業など様々な業種があるため生徒の選択幅も広がったと思います。本校生徒の就職希望内定者数は今年度(12月末現在)47名という状況です。内定内訳は、製造業16社「群馬県内14社・埼玉県内2社」、物流業3社「群馬県内」、サービス業13社「ホテル関係2社(群馬県1社・東京都1社)、鉄道交通系2社(群馬県内1社・東京都2社)、電力関係1社(東京都1社)、自動車関係1社(神奈川県1社)、病院(群馬県内4社)、美容系(群馬県内2社)、ゴルフ関係(1社)、営業・販売業5社「群馬県内4社・愛

(図1) 過去5年間求人数・求職者数・求人倍率の推移 (高崎管内)



知県1社)でした。さらに、公務員関係「消防3名(前橋・宇都宮・多野藤岡)、警察1名(群馬県警

察、陸上自衛隊(一般曹候補生1名)、高崎市役所1名」合格という状況になっています。主な

本校の進路決定の取り組みとして、今年度より生徒や保護者に対して情報を少しでも多く伝えるために求人票を紙ベースからデータベースを利用したシステムを導入しました。このことにより、学校ではもちろん家庭においても企業情報を閲覧することができる

ようになりました。また、4月から企業の方が来校した際に得た内容（企業情報・雇用・勤務形態など）もデータベース化し、各教室への掲示やデータ配信を行い、進路指導や面談の際にも活用してもらいました。4月から5月にかけて企業訪問を実施し、新年度の挨拶及び採用依頼を実施し各企業の方から丁寧な言葉を頂くこともできました。6月には、本校主催就職ガイダンスを計画し、12社の企業の方が参加という形で、生徒・保護者対象に本校講堂において2部制で実施しました。第1部では「企業紹介」・「社会人として必要な資質」など様々なアドバイスを



6月5日 就職ガイダンスの様子

頂きました。第2部では、各ブースにおいて企業から具体的な仕事内容などを伝えていただき、生徒も積極的に企業の方からの説明を受けることができました。ガイダンス終了後、企業の方からも本校生徒の「聞く姿勢」・「積極性」についてお褒めの言葉もいただくことができ有意義で価値ある時間を過ごせたのではないかと思います。今年度の就職希望者は、進路資料室にある様々なデータを積極的に活用し、面接で自分の力が十分に発揮できるよう何度も練習に励み自分が納得できるまで反復練習するなどその姿勢は素晴らしかったと思います。採用試験の結果、ほ



とんどの生徒が9月16日以降試験を受験し合格という結果になりました。企業の方からも、「来年もよろしく願います」というお言葉もいただきと同時に、来年度は採用枠を増やしていただけるということも伺っています。在校生も素晴らしい先輩方を見習って、挨拶の励行・基本的な生活習慣の確立を遂行し、自分にプラスになるような行動がとれるようになることを期待しています。職業指導担当としても全力で取り組み、来年度は更なる企画をし、進路決定に役立つ取り組みをしていきたいと考えています。

（職業指導主事 田村 彰康）

生徒指導というと、課題が起き始めたことを認知したらすぐに対応する、あるいは、困難な課題に対して組織的に粘り強く取り組むというイメージが根強く残っています。しかし、問題が起きてからどう対応するかという以上に、どうすれば問題が起きないようにするのかということが重要です。

## 生活指導部より

課題予防的生徒指導として、課題未然防止教育や課題早期発見対応が求められます。しかし、インターネットの利用によるトラブルなどは見えにくく、日常的に学校や家庭が適切な利用について、生徒に伝える必要があります。青少年インターネット環境整備法では、青少年が安全に安心してインターネットを利用する環境の整備が、保護者の責務として明記されました。

インターネットは素晴らしい手段ですが、時に人間関係に悪影響を与えることもあります。学校と家庭が連携し、生徒自身が健全な利用ができるように支援していきたいと考えています。

（生徒指導主事 御供 聖）

## 令和4年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

令和4年度決算につきましては、令和5年5月30日開催の理事会において承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に続きこれまで過去21年間「Aランクの状態」（正常状態）に位置しており、財務分析の結果からも財政基盤は安定している状況にあります。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の整備に引き続き努力して参ります。

なお、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所において閲覧することができます。

## ① 資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度に行った教育研究等の諸活動に対応する全ての収入及び支出を、全て現金預金で行われたものとみなして表示し、教育研究活動をどの程度の規模で行ったのか、また、借入金や施設設備等の支出がどの程度あるのかなど、支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにする書類です。

令和4年度の資金収支状況について、収入は前年度繰越支払資金の2,068,262千円を加え、合計で5,229,659千円となり、学生生徒等納付金収入、補助金収入及び

受取利息・配当金収入等で増加し、付随事業・収益事業収入、前受金収入等の減少と資金収入調整勘定により、予算に対しては108,797千円の減少となりましたが、昨年からは208,094千円の増加となっています。

一方、支出については、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等の各支出が減少したことで、翌年度の繰越支払資金は、予算に対し139,571千円増加して2,346,349千円となり、昨年からも278,087千円の増加となりました。

## 資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,767,675,000	1,769,011,740	△ 1,336,740
手数料収入	54,880,000	55,238,416	△ 358,416
寄附金収入	14,680,000	14,950,700	△ 270,700
補助金収入	775,613,000	801,006,950	△ 25,393,950
資産売却収入	301,136,800	301,131,000	5,800
付随事業・収益事業収入	23,010,000	20,658,825	2,351,175
受取利息・配当金収入	19,250,000	25,911,745	△ 6,661,745
雑収入	100,822,134	100,218,146	603,988
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	317,000,000	315,979,500	1,020,500
その他の収入	216,222,709	228,722,865	△ 12,500,156
資金収入調整勘定	△ 320,094,500	△ 471,432,095	151,337,595
前年度繰越支払資金	2,068,262,167	2,068,262,167	
収入の部 合計	5,338,457,310	5,229,659,959	108,797,351
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,449,652,530	1,447,490,230	2,162,300
教育研究経費支出	663,707,137	644,625,289	19,081,848
管理経費支出	154,772,085	147,339,564	7,432,521
借入金等利息支出	2,903,767	2,903,767	0
借入金等返済支出	73,328,000	73,328,000	0
施設関係支出	158,351,308	157,834,950	516,358
設備関係支出	80,619,792	66,418,612	14,201,180
資産運用支出	487,691,396	487,691,396	0
その他の支出	54,412,326	51,947,102	2,465,224
〔予備費〕	33,587,578		33,587,578
資金支出調整勘定	△ 27,346,428	△ 196,268,706	168,922,278
翌年度繰越支払資金	2,206,777,819	2,346,349,755	△ 139,571,936
支出の部 合計	5,338,457,310	5,229,659,959	108,797,351

② 事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、その年度の「教育活動」、「教育活動以外の経常的な活動」及び「前記二つ以外の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入額を控除したその年度の諸活動に対応する全ての収支の均衡状態を明らかにして、学校法人の経営状況を把握するための書類です。

令和 4 年度の事業活動収入は、予算に対して 35,597 千円増の 2,793,259 千円、事業活動支出は予算に対して 47,297 千円減の 2,493,091 千円で、基本金組入前当年度収支差額は 300,176 千円の収入超過となりました。また、施設・設備の整備や育英基金等の基本金組入額

の合計が 214,129 千円となり、基本金組入後の当年度収支差額は 86,038 千円の収入超過となりました。

これにより、前年度繰越収支差額の 118,436 千円を加え、翌年度繰越収支差額は 204,474 千円の収入超過となりました。

また、単年度の収支状況の指標となる経常収支差額（＝経常収入（教育活動収入計＋教育活動外収入計）－経常支出（教育活動支出計＋教育活動外支出計））は、285,775 千円の収入超過となり、経営判断指標となる経常収支差額比率（経常収支差額／経常収入）も 10.4 %と「正常状態」の値となっています。

事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,767,675,000	1,769,011,740	△ 1,336,740
		手数料	54,880,000	55,238,416	△ 358,416
		寄附金	14,680,000	15,620,726	△ 940,726
		経常費等補助金	747,528,000	772,396,950	△ 24,868,950
		付随事業収入	23,010,000	20,658,825	2,351,175
		雑収入	100,822,134	100,218,146	603,988
		教育活動収入計	2,708,595,134	2,733,144,803	△ 24,549,669
	支出の部	人件費	1,437,998,026	1,435,835,726	2,162,300
		教育研究経費	891,875,240	871,276,538	20,598,702
		管理経費	167,444,604	160,011,750	7,432,854
徴収不能額等		3,253,000	3,253,000	0	
	教育活動支出計	2,500,570,870	2,470,377,014	30,193,856	
	教育活動収支差額	208,024,264	262,767,789	△ 54,743,525	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	19,250,000	25,911,745	△ 6,661,745
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	19,250,000	25,911,745	△ 6,661,745
	支出の部	借入金等利息	2,903,767	2,903,767	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	2,903,767	2,903,767	0
	教育活動外収支差額	16,346,233	23,007,978	△ 6,661,745	
	経常収支差額	224,370,497	285,775,767	△ 61,405,270	
特別収支	収入の部	資産売却差額	1,581,798	1,554,997	26,801
		その他の特別収入	28,235,000	32,647,512	△ 4,412,512
		特別収入計	29,816,798	34,202,509	△ 4,385,711
	支出の部	資産処分差額	19,810,304	19,810,304	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	19,810,304	19,810,304	0
	特別収支差額	10,006,494	14,392,205	△ 4,385,711	
	(予備費)	17,103,345		17,103,345	
	基本金組入前当年度収支差額	217,273,646	300,167,972	△ 82,894,326	
	基本金組入額合計	△ 283,099,018	△ 214,129,227	△ 68,969,791	
	当年度収支差額	△ 65,825,372	86,038,745	△ 151,864,117	
	前年度繰越収支差額	118,436,162	118,436,162	0	
	基本金取崩額	0	0	0	
	翌年度繰越収支差額	52,610,790	204,474,907	△ 151,864,117	
(参考)					
	事業活動収入計	2,757,661,932	2,793,259,057	△ 35,597,125	
	事業活動支出計	2,540,388,286	2,493,091,085	47,297,201	

- ・教育活動収支は、教育研究活動に係る収入・支出を区分したものです。
- ・教育活動外収支は、経常的な収支の内、財務活動に係る収入・支出を区分したものです。
- ・特別収支は、資産の売却・処分、施設設備寄付金(含む現物寄付)、施設・設備に対する補助金等の臨時的な収入・支出を区分したものです。

## ③貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び繰越収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表す書類です。

令和4年度末の総資産は、前年度末に比較して348,239千円の増加となり、本年度末11,888,040千円となりました。

資産の部では、「有形固定資産」が大学・短大の1号館LAN配線・基幹スイッチ更新、Wi-Fi設備整備や3号館空調設備整備、学生駐車場整備等、高校の第3校舎サッシ改修や第4校舎トイレ改修、プロジェクター設備整備等、また幼稚園の送迎用バス購入等により資産の増加がありました。合計では前年度に比べ26,845千円の減少となりました。「特定資産」では育英基金や周年事業、施設設備拡充資産への増加により合計では前年度に比べ93,915千円の増加、「その他の固定資産」ではソフトウェアの減少等により前年度に比べ778千円減少して、「固定資産」全体では、本年度末9,389,466千円となり、前年度より66,291千円増加しました。

また、「流動資産」は、学生生徒等納付金の増加に

伴い現金預金等が増加したことから、前年度に比べ281,947千円増加し、本年度末2,498,573千円となりました。

負債の部では、「固定負債」が570,522千円で、日本私立学校振興・共済事業団からの長期借入金等が減少したことにより前年度に比べ86,599千円減少し、「流動負債」は609,672千円で、前年度に比べ134,670千円増加しました。この結果、総負債は、前年度末に比較して48,071千円の増加となり、本年度末1,180,195千円となりました。

また、純資産の部では、「基本金」が第1号、第3号の基本金で組入れが行われた結果、合計で10,503,370千円となり、前年度に比べ214,129千円増加しました。「繰越収支差額」は86,038千円増加し、前年度末の繰越収入超過額118,436千円と合わせて、本年度末の繰越収支差額は204,474千円の収入超過となりました。

これらの結果、純資産の合計（正味財産）は10,707,844千円となり、対前年度で300,167千円増加しました。

## 貸借対照表

(単位：円)

資 産 の 部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	9,389,466,634	9,323,175,197	66,291,437	
有形固定資産	7,464,769,827	7,491,615,173	26,845,346	
特定資産	795,245,183	701,329,687	93,915,496	
その他の固定資産	1,129,451,624	1,130,230,337	△778,713	
流動資産	2,498,573,638	2,216,626,045	281,947,593	
資産の部合計	11,888,040,272	11,539,801,242	348,239,030	
負 債 の 部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定負債	570,522,552	657,122,356	△86,599,804	
流動負債	609,672,793	475,001,931	134,670,862	
負債の部合計	1,180,195,345	1,132,124,287	48,071,058	
純 資 産 の 部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
基本金	10,503,370,020	10,289,240,793	214,129,227	
第1号基本金	10,288,433,389	10,075,304,162	213,129,227	
第3号基本金	59,936,631	58,936,631	1,000,000	
第4号基本金	155,000,000	155,000,000	0	
繰越収支差額	204,474,907	118,436,162	86,038,745	
純資産の部合計	10,707,844,927	10,407,676,955	300,167,972	
負債及び純資産の部合計	11,888,040,272	11,539,801,242	348,239,030	



### 商大附高「スポーツ祭」

9月28日(木)・29日(金)の2日間にわたり、高崎アリーナにて「スポーツ祭」が行われました。コロナ禍後、初めて全校生徒が一堂に会しての実施となり、会場全体が大きな笑顔と歓声にあふれた最高の2日間となりました。

### 2023 autumn-winter 学園トピックス





**華道部**

華道部は、週1度、古流師範の松本先生から華道を習っています。練習で生けたお花は校内展示し、皆さんに見てもらっています。季節に合ったお花を使うことができるので、毎回どのようなお花が来るか楽しみです。



季節に合わせたお花を生けました

花器も色々あります



生徒が練習で生けたお花です



**善行表彰**



総合ビジネス科1年1組の大野凛さんが、通学途中のバス停で、具合が悪くなった女性を介抱し助けた善行により、高崎市学校保健大会で表彰されました。

### 数学コンテスト・ 数学キャンプ

7月26日に行われた群馬県数学コンテストで普通科1年1組の赤間大地さんが奨励賞を受賞しました。また、受賞により県教委主催の数学キャンプに参加しました。東京大学の教授による講義を受け、自主研究の発表を行いました。

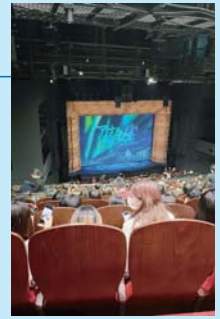


表彰式



### 三部 (父母の会・後援会・同窓会) 合同研修旅行

11月23日、4年ぶりに三部合同研修旅行を行いました。コロナ禍以前は、毎年恒例で楽しみにして下さっていた方々の多い人気の行事です。築地を散策し昼食をとった後に、劇団四季「アナと雪の女王」のミュージカルを鑑賞しました。「とてもよかった。」「感激した。」と好評でした。久々に再会した人もあり、車中での会話も途切れることない楽しい一日となりました。



### ダンス部



ダンス部は今年度から同好会から部活になり、活動の場を広げようと思い、12月20日(水)に校内で、クリスマスショーを開催しました。生徒達はサンタハットやトナカイのヘアバンドを付け、楽しみながら踊ることができました。今後は校外にも視野を広げて活躍していきたいと考えています。



### 合唱部・吹奏楽部

12月21日(木)に前庭ロータリーにて、合唱部・吹奏楽部合同クリスマスコンサートを行いました。寒い中たくさんの生徒が観覧し、少し早いクリスマス気分で盛り上がる事ができました。



### 私学振興大会



1月15日、令和6年私学振興大会が4年ぶりに開催されました。県内私立幼稚園・小学校・中学校・高校・大学・専門学校の関係者260余名が参加し、私学教育の充実に向けての決意表明を行いました。本校からは、神宮父母の会会長をはじめに5名の本部役員の方々がご出席くださいました。

## 2024 関東大会・国体・全国大会 出場結果報告



## アーチェリー部

## R5. 11. 18~11. 19 令和5年度関東高等学校アーチェリー選抜大会

- 男子個人 33位 長井琉空(F2-7)・大河原 宏人(F2-8)  
 57位 山崎蓮斗(F2-2)・関口文斗、廣木凱大(F2-6)  
 猿谷 陽(F2-11)
- 女子個人 5位 吉田聖奈(F2-3)  
 17位 須山優香(F2-3)  
 33位 大崎春香(F2-3)



## バドミントン部

## R5. 12. 16~12. 17 令和5年度関東高等学校選抜バドミントン大会

- 男子シングルス 1回戦 相川武蔵(F1-10)  
 女子シングルス ベスト16 相川和葉(F1-5)



## フェンシング部

## R5. 12. 21~23 令和5年度全日本フェンシング選手権

- 団体戦 女子団体フルーレ 19位  
 植木あゆみ(F3-7)・萩原利佳(F3-7)・砂山青葉(F1-10)・  
 永沢暁佳(F1-10)



## R6. 1. 4~7 令和5年度JOCジュニアオリンピックカップ

- ジュニア男子フルーレ 50位 松本 朔(F3-7)  
 ジュニア男子サーブル 14位 木村珊瑚(F2-11)  
 ジュニア男子サーブル 77位 佐藤 天(F2-1)  
 カデ男子サーブル 67位 小板橋瑛太(F2-11)  
 カデ男子エペ 73位 橋上 逞(F2-1)  
 ジュニア女子エペ 35位 砂山青葉(F1-10)



## R6. 1. 19~20 令和5年度関東高等学校選抜フェンシング大会

- 男子学校対抗サーブル 出場  
 木村珊瑚・佐藤 天・小板橋瑛太・橋上 逞・齋藤 昊(F1-4)

## 空手道部

## R6. 1. 17~18 第32回関東高等学校空手道選抜大会

- 女子団体組手 北ブロック3位  
 関 七彩(F2-8)・江口若奈(F2-9)・高橋 華(F2-12)・  
 石田海華(F2-8)・寺内瑠菜(F1-5)・小野 楓(F1-9)・  
 星野ひより(F1-4)・風間恋海(F1-8)



- 女子団体形 北ブロック3位  
 辻本南月(F2-1)・江口若奈(F2-9)・高橋 華(F2-12)・  
 寺内瑠菜(F1-5)・小野 楓(F1-9)・星野ひより(F1-4)

- 男子団体形 北ブロック4位  
 塚田一輝(F2-12)・加藤謙吾(F2-9)・松井翔汰(F1-3)・  
 石井徹磨(F2-11)・徳井渉介(S1-1)

- 男子個人組手 北ブロック2位  
 -55kg 温井日陽(F1-5)・-68kg 金井侑晟(F1-6)



## バトントワリング部

## R5. 10. 14 第58回バトントワーリング関東大会 銀賞

- 松島 凜(F3-3)・高橋穂菜美(F3-4)・濱井幸那(F3-5)・志村優奈(F3-7)・牧野優香(F3-7)・  
 三木里伽子(F3-7)・大塚 聖(F3-8)・佐藤芽生(F3-9)・徳江里光央(F2-6)・長坂心暖(F2-10)・  
 丸山愛未(F2-10)・三友菜緒(F2-11)・岩井幸恵(F2-12)・横尾桃名(S2-1)・大橋紗蘭(S2-2)

## ペップアーツ部

R5. 11. 19 第38回国民文化祭「いしかわマーチンバンドの祭典」  
出場

R5. 12. 10 JAPAN CUP 2023 日本選手権

カラーガード部門 第3位

R5. 12. 24 関東スーパーマーチング

カラーガード部門

田中愛梨(F3-9)・富所千咲(F3-4)・高橋花菜(F3-6)・  
瀧澤紅杏(F3-7)・岡安結里(F3-11)・清水 菜(F2-1)・  
松原のん(F2-2)・阿久津彩羽(F2-5)・増田楓華(F2-9)・  
松井晴恵(F2-9)・吉澤優妃(F2-9)・金田璃子(F2-10)・  
河原唯愛(F2-10)・石丸優奈(F2-10)・藤井沙羅(F2-11)・  
境原梨蘭(F2-12)・今井夕月(F1-2)・市地結衣(F1-3)・  
高田雛乃(F1-6)・櫻田若菜(F1-6)・阿藤千歩(F1-9)・  
深野心遥(F1-9)・鬼形菜由(S1-1)・倉林萌華(S1-2)・  
津久井優和(S1-2)・中宮麻友(S1-2)

R6. 1. 28 第7回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会  
カラーガード 高校の部 銀賞

田中愛梨(F3-9)・富所千咲(F3-4)・高橋花菜(F3-6)・  
瀧澤紅杏(F3-7)・岡安結里(F3-11)・清水 菜(F2-1)・  
松原のん(F2-2)・阿久津彩羽(F2-5)・増田楓華(F2-9)・  
松井晴恵(F2-9)・吉澤優妃(F2-9)・金田璃子(F2-10)・  
河原唯愛(F2-10)・石丸優奈(F2-10)・藤井沙羅(F2-11)・  
境原梨蘭(F2-12)・今井夕月(F1-2)・市地結衣(F1-3)・  
高田雛乃(F1-6)・櫻田若菜(F1-6)・阿藤千歩(F1-9)・  
深野心遥(F1-9)・鬼形菜由(S1-1)・倉林萌華(S1-2)・  
津久井優和(S1-2)・中宮麻友(S1-2)・木島知香(S1-1)・  
若松あやめ(S1-1)



## 放送部

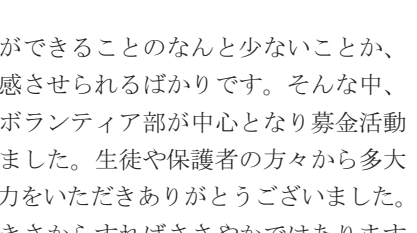
R6. 1. 27~1. 28 第21回関東地区高等学校放送コンテスト関東大会  
オーディオメッセージ部門 最優秀賞

大塚千音(F1-1)・小林夏実(F1-1)・小井土未来(F1-5)・  
伊藤彰利(F1-6)・松本歩夏(F1-8)・林 愛純(F1-8)・  
小池涼音(S1-2)



## 文芸部

R5. 12. 16 第38回全国高等学校文芸コンクール  
文芸部誌部門 優秀賞



## 編集後記

令和6年1月1日。  
新年を迎え、それぞれ  
に正月を過ごしていた  
4時過ぎに、石川県能登半島沖を震源地とする  
地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。  
翌日には、羽田空港でのJAL機と被災地に向  
かう海上保安庁の航空機事故が起き、暗い幕開  
けとなりました。

災害が起きるたびに、被災された方々に対し

て、自分ができることのなんと少ないことか、  
非力を痛感させられるばかりです。そんな中、  
校内ではボランティア部が中心となり募金活動  
が行われました。生徒や保護者の方々から多大  
なるご協力をいただきありがとうございます。  
被災の大きさからすればささやかではありますが、  
せめてもの気持ちで、被災された方々のお  
役に立てばと願っています。(教頭 大澤)